

5280

其二金家灣楊家宅舊里附近之戰鬪

自昭和十二年九月十六日
至昭和十二年九月二十三日

52

1475

金家灣楊家宅查里附近戰鬪詳報目次

一戰鬪前ニ於テ彼我ノ態勢

五頁

一地形及住民地ノ狀態

五頁

一戰鬪ニ影響ヲ及ボシタル天候氣象

五頁

一彼我ノ兵力、交戦セシ敵團隊將帥氏名

五頁

一編制裝備及素質訓練

一戰鬪経過

五頁

一戰鬪經過

六頁

戦闘前ニ於ケル彼我ノ態勢

敵ハ全般ニ退却ノ兆アリシカ第一線ハ金家灣、楊家宅

厓里ノ線ニ於テ頑強ニ抵抗シアリ

我態勢ハ昨夜ト變化ナシ

歩兵第六十八聯隊ノ第二大隊ハ歩兵第六十八聯隊

ノ左翼ニ増加シ十五日寶宅ヲ占領セリ

地形及住民地ノ状態

地形トシテ、特徴ハ今迄ノ戦場ニ比シテ稍隠蔽シアル

點ナリ

即チ田及綿畑ノミナラス叢林雜草繁茂セル荒地
多シ此ノ地形ノ隠蔽セルハ友軍ノ遮蔽近接ハ極メ
テ有利ナリシカ又敵ニモ此利點ヲ與ヘ然ラストモ困難
ナル敵狀搜索ヲ一層困難ナラシメ屢々苦キ經驗ヲナセリ
之ノクリークノ状態ハ大ナル變化ナシ

戦闘ニ影郷音ヲ及ホシタル天候氣象ノ状態

戦闘間殆ト連日雨天續キ戦闘ノ進歩ニ甚カラサル影

郷音ヲ與ヘタリ

攻撃戦闘ニ於テ雨ヲ利用シ敵ノ虛ニ乘シタル戦例アリ

ルモ本戦闘ノ如ク絶エズ至近距離ニ相待峙シタル状況

ニ於テハ支那軍ト雖モ此虚隙ヲ生スル能ハサル景況ナ

リキ

2. 寧口部隊ノ行動ヲ鈍重ナラシメ殊ニ突撃道前ノ

前進ニ際シテハ其ノ速度ヲ鈍ラシ徒ニ損害ヲ受ケシ

コト屢々アリキ

又尚「クリーク」ハ増水シ運動ニ不便ヲ來セリ

又此ノ雨天ノ連續セルハ敵情偵察並ニ砲兵ノ觀測

ニ

2820

ヲ妨害スルコト極メテ大ナリキ
又兵器ハ手入不良トナリ自ラ故障増加スル結果ト
ナレリ

彼我ノ兵力交戦セシ團隊號將帥ノ氏名編制裝備
素質訓練

人彼我ノ兵力

敵ハ譚 遠ノ率ル廣東軍第六十六軍(第百五十

九師、第百六十師)及第三十二師殘部ニシテ其總

兵力ニ萬ト稱セラル

我カ兵力ハ約千五百名ナリ

2、將帥ノ氏名

第六十六軍長

譚

遠

第百五十九師長

兼

譚

遠

第百六十師長

葉

肇

3、編成

師ハニヶ旅ヨリ成リ旅ハニ團ヨリ成ル師ハ其外砲兵、大隊、工兵大隊、通信中隊、無線電信隊、輜重兵大隊、特科隊ヲ有ス

々 裝備

一兩師共小銃約七千挺、輕機三八七挺、重機四八挺、步兵砲(曲射)ニ四門、野山砲一二門ヲ有ス但自動火器ハ尙著シク増大セル模様ナリ 通信機關ノ整備セラレアリシハ特徴ナリ

々 素質及訓練

第六十六軍ハ元廣東軍ノ第一師ニシテ幹部ノ技能ハ比較的優秀ナリ兵ノ素質モ廣東特有ノ強サヲ有セリ

戰鬥法

一般戰法ハ變化ナシ

第六十六軍長ノ發セル教令々左ノ如シ

各級部隊使用兵力ハ最初三分ノ一ヲ限度トス決シテ
三分ノ二ヲ超過スヘカラス各級隊長ハ戰鬥經過ノ結果
ヲ整理スル以前確實ニ三分ノ一ノ兵力ヲ掌握シ豫備隊
トナスヘシ

戰鬥間各級部隊位置ノ距離ハ努メテ戰術原則
ノ規定ニ依リ且極力地勢地形ヲ利用シ萬已ムヲ得
サル時ニ於テモ一ヶ所ニ密集スルヲ避クヘシ

中隊以上ハ對空射撃部隊ヲ指定シ對空ヲ担任スヘシ
其他ノ部隊ハ全力ヲ陸地ノ敵ニ注キ對空ニ力ヲ分チテス

敵ニ乗セサル様ナスヘシ

六。

4 彈藥節約ノ標準ハ毎日平均使用數ヲ步兵銃一挺ニ對シ約二十發輕機關銃一挺ニ對シ約四百發重機關銃一挺ニ對シ約千發手榴彈ハ中隊毎ニ四十個ト定ム各長官ハ切實ニ士兵ニ訓シテ彈藥ノ節約ヲナシ敵ヲ見ス又充分照準セスシテ發射セサルヲ原則トナスヘシ

5 機關銃射撃ハ努メテ三發乃至五發ノ點射ヲ以テ原則トス若シモ有利ナル目標ニ遭ヒシ時ハ連續十五發ヲ點射シテ暫ク中止スヘシ是レツニハ彈藥ノ節約故障ノ減少トナリ一ツニハ敵ニ我陣地ヲ認識セラルヲ免ルルヲ得ヘシ

6. 各歩兵中隊毎ニ五名、良好ナル射手ヲ選抜シ以テ特別有利ナル目標ニ對シ射撃スヘシ

7. 敵ハ每次歩兵前進ノ前必ス砲撃爆撃ヲ行フ此時我守兵ハ宜シク鎮靜不動砲火ノ停止ヲ待チ敵兵ノ出現セル時突然逆襲セハ容易ニ奏功ス然ラサレハ大慘境ニ陷ルヘシ

8. 最前線ノ工事ニ赴キ戦闘スル官兵カ若シ敵ノ猛烈ナル攻撃ヲ受ケタル時ハ唯隠レテ團結シテ射テハ死中ニ生ヲ求メ得テ然シテ勝利ヲ得ヘシ若シ忘レテ陣地ヲ離レ殲滅ヲ蒙ル勿レ

9. 某一地區ノ守兵若ハ指揮官ヲ論セス必ス獨立作戰ノ精神ヲ持チ依頼心理希望或ハ増援要求ヲ切カ

ニ戒ムヘシ

戦闘猛烈ニシテ後方トノ交通ハ砲兵ニヨリテ遮斷ヲ
 蒙リ増援ハ不能後退モ不能ナル時ハ只剛毅沈著
 ニ從事スヘシ射撃突撃ニテ強敵ヲ破滅シ忠勇
 愛國ノ精神ヲ以テ獻身殉國ノ立念ヲ發揮シ軍
 人精神ノ精華ヲ以テ制勝ノ要訣トナスヘシ
 右教令ニ依リ其ノ戦闘法ノ一端ヲ知り得

六二

戰鬥經過

九月十五日午後十時明日ノ攻撃ニ關シ旅團命令ニ基
キ左記命令ヲ下達セリ

步兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

一敵ハ退却ノ兆アルモ第一線ハ頑強ニ抵抗ニアリ第一線
大隊ハ火燒場及小朱宅楊木橋ノ線ニ進出セリ步兵
第六十八聯隊第二大隊ハ步兵第十八聯隊ノ左翼
ニ増加シ本十五日寶宅ヲ占領セリ

ニ右翼隊（野砲兵第一大隊其他配屬故ノ如シ）ハ依
然前任務ヲ續行セントス攻撃ノ重點ハ第三大隊正
面トス左翼隊ハ依然前任務ヲ續行ス砲兵ニケ大
隊ハ主力ヲ以テ左翼隊ニ部ヲ以テ右翼隊ニ協カス

三各大隊ハ明十六日午前九時攻撃ヲ開始シ逐次敵陣
地ヲ奪取シ劉家行ノ線ニ進出スヘシ

各大隊ニエ兵隊ノ一部協カスル筈

四戰鬥地境故ノ如シ

五野砲兵第一大隊ハ主火力ヲ金家灣、無電台以南

ニ一部火力ヲ同以北ニ準備シ主トシテ第一大隊第三

大隊ノ攻撃ニ協カスヘシ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ逐次陣地

ヲ變換スヘシ

射撃開始ハ午前七時三十分トス各大隊ニ連絡將校

ヲ派遣スヘシ

六第三大隊ヨリ歩兵一中隊ヲ成ル可ク速ニ朱家宅本部

ニ集結セシムヘシ已ムヲ得サルモ少クモ一小隊ヲ正子前ニ

到着セシムヘシ

七、第四中隊ハ旅團直轄トス第十中隊到着後楊家
宅西端旅團司令部ニ到ルヘシ但遲クモ一小隊ハ正子
迄ニ旅團司令部ニ到ラシムヘシ

ハ戰車中隊ハ前任務ヲ續行スヘシ工兵小隊主力協力
スル筈

九、予ハ現在地ニ在リ攻撃ヲ進捗ニ伴ヒ本道ヲ前進ス

九月十日 下達法要旨ヲ電話後命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

(晴)

狀況 第二大隊ハ第六第八中隊ヲ第一線トナシ火燒場西北

第三大隊方無名部落及金家灣北方無名部落ヲ奪取セム

過 戰鬥經 午後一時攻撃ヲ開始セリ第一線ハ對壕作業ニ依リ

敵ノ猛火ヲ冒シツ、逐次近迫セリ野砲兵第一大隊ハ

其一中隊ヲ第二大隊ニ直接協力セシメ觀測所ヲ
 大隊本部ノ位置ニ設ケ適時有効ナル支援ヲナス右
 第一線タル第六中隊ハ一時右側ヨリスル側射ノタメ
 前進遲滯シタルモ爾後極力前進ニ努メ薄暮ヲ利
 用シ適切ナル砲兵ノ協力ノ許ニ午後六時頃火燒場西
 北方無名部落ヲ奪取セリ然レ共左第八中隊方
 面ハ金象灣北方無名部落ヲ奪取スルニ到ラスシテ
 部落東方二百米「クリーク」ノ線ニ停止スルニ至ル
 第三大隊ハ昨日同様ノ部署ヲ以テ午後一時攻撃ヲ
 開始ス第一線ハ一意對壕作業ニ依リ攻撃陣地ヲ
 推進ス此ノ間砲兵ノ制壓並ニ破壞射撃適切ニ行
 ハレ其攻撃ヲ容易ナラシメタリ

野砲兵第一大隊ハ大隊ノ要求ニ基キ午後二時三十分ニ
ケ中隊ノ火力ヲ以テ楊家宅ニ對シ五分間集中射撃ヲ實
施ス

左第土中隊ハ此ノ射撃ヲ利用シ極力前進ニカメ午後
四時三十分楊家宅ヲ奪取セリ右第一線タル第十二中隊
ハ楊家宅ノ奪取成ルヤ直チニ金家灣ニ對スル攻撃ヲ
準備シ午後四時四十分砲兵ニ集中射撃ヲ要求セリ
砲兵ハ直チニ射撃ヲ開始セリ該中隊ハ砲撃開始ト共ニ
攻撃ヲ續行シ「クリーク」ニ依リ圍繞セラレタル堅固ナル金
家灣ヲ奪取セリ時ニ午後五時稍過ナリ
第三大隊ノ果敢ニ中央ヲ突破シタル行動ハ金家灣一帯
ノ敵ニ大打撃ヲ與ヘタルト共ニ聯隊ニ爾後ノ戦闘指導

ヲ極メテ容易ナラシメタリ

六八

第一大隊第一大隊ハ番里攻略ヲ爲先ツ楊木橋西方高地ノ敵
過戰鬪經ヲ奪取スヘク企圖シタルモ王丸房附近ノ敵頑強ニシテ

大隊ノ左側ヲ脅威スルコト甚ク攻撃稍困難ナリシヲ以
テ右第三中隊方面ヨリ逐次前進セシメ主トシテ火力ニ依
リ第三大隊ノ楊家宅攻撃ニ協力セリ

速射砲中隊ハ本日王丸房附近ノ敵ヲ射撃シ大ナル
効力ヲ收メタリ

午前十時頃項宅附近ニ一部ノ敵侵入シ後方ノ連絡ヲ
妨害スルノ報ニ接シ直チニ左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

一 斥候ノ報告ニ依ルハ項宅附近ニ一部ノ敵ノ浸入セルモノ

1620

69

1492

ノ如シ

項宅附近ニ第十中隊ハ小隊長ノ指揮スル輕機小銃各一分隊ヲ以テ速
近、掃蕩
ニ項宅附近ノ敵ヲ掃蕩スヘシ

右命令ニ基キ第十中隊ハ高見小隊ヲシテ之ニ任セシム高
見准尉ハ部下小隊ヲ以テ隱密ニ之ヲ偵察側背ヨリ此
ノ敵ヲ奇襲シ午後二時三十分之ヲ撃退セリ敵ハ遺棄
死体五、小銃四〇、手榴彈三〇ヲ殘シテ後退セリ之レカ爲
ノ後方ノ脅威ヲ除去セラレ彈藥糧秣ノ運搬圓滑ニ
行ハレタリ

戦闘經過別紙要圖第二ノ如シ
無電台附近ノ敵ハ夕以來度々逆襲シ來リシモ第一線
部隊克ク此敵ヲ撃退セリ

聯隊ハ本日ノ戦闘ニ依リ第三十二師ヲ完全ニ撃滅シタリセ。
 本日ノ戦闘經過別紙要圖第一ノ如シ
 本日ノ戦闘ニ於ケル成果
 敵ノ遺棄死体ハハ。

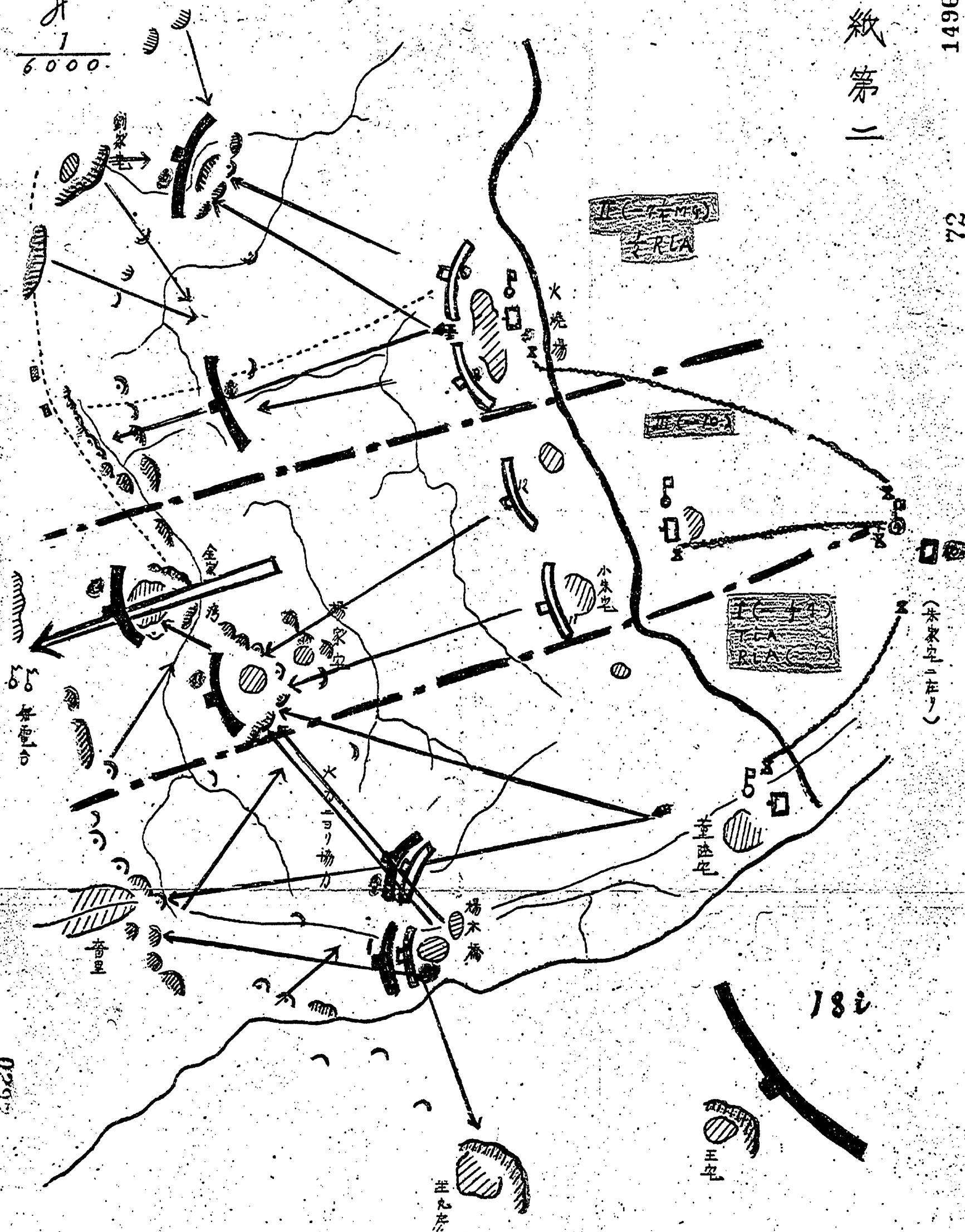
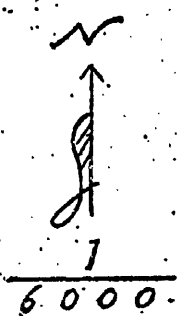
金家灣附近戰鬪經過要圖

(九月十六日於ル)

別紙第二

1496 1495

72



金家灣附近戰鬪經過要圖

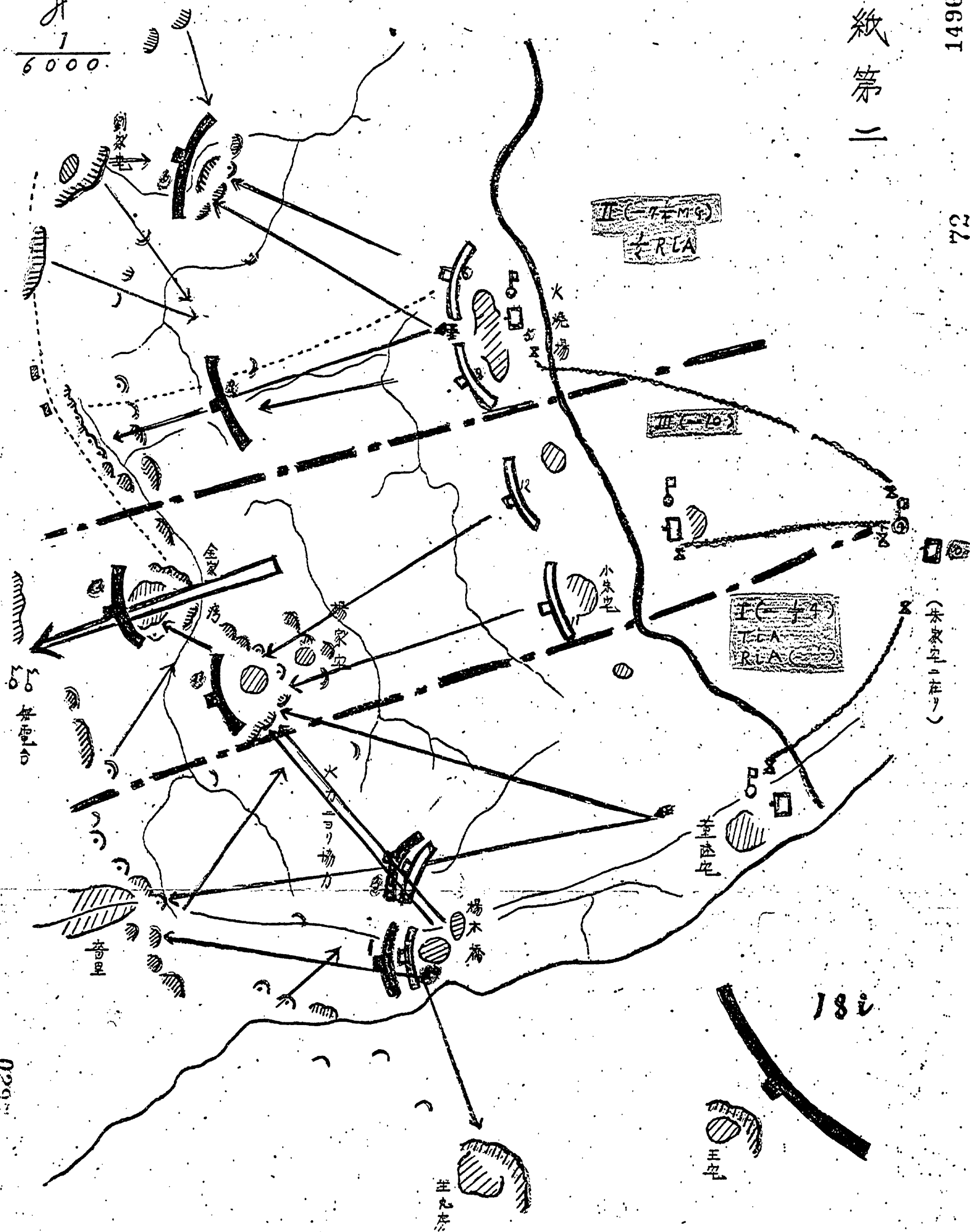
(九月十六日於ル)

別紙第二

1496 1495

72

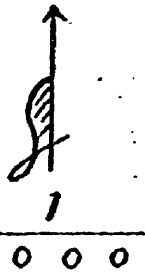
1
6000



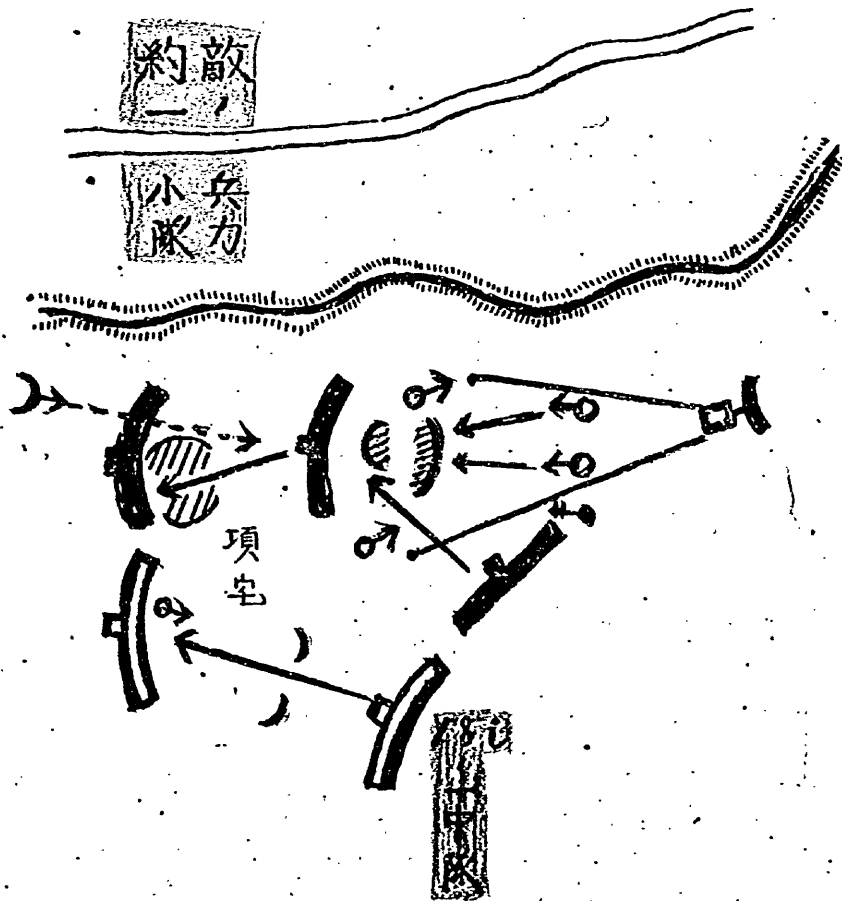
0298

高見小隊戰鬪經過要圖

(ルケ於 = 近附宅項目六十月九)



別紙
第一



73

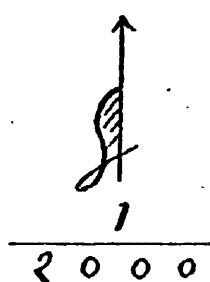
2 ~ 45

1498 1497

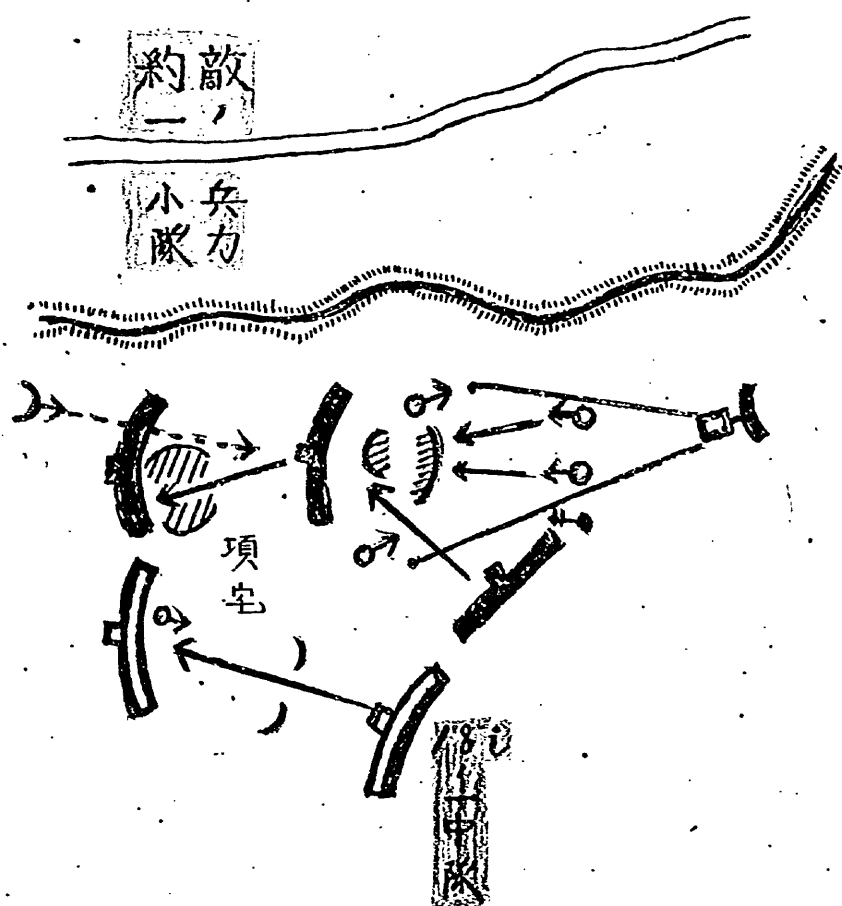
02920

高見小隊戰鬪經過要圖

(九月十六日項宅附近ニ於ケル)



別紙第一



73

2 ~ 45

1498 1497

午後九時旅團命令ニ基キ左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

ハ當面ノ敵ハ其第一線ヲ奪取セラレ志氣阻喪シアルモ督
戰隊ニ依リ辛ウシテ其陣地ヲ保持シアルモノ、如シ

捕虜ノ言ニ依レハ劉家行守備ノ敵ハ約半數(約一千)

ノ損害ヲ蒙レリト旅團ハ明十七日當面ノ敵ヲ強攻シ劉家

行顧家宅ヲ攻略シ大場鎮ニ對スル攻撃ヲ準備ス

ニ右翼隊(缺除協力故ノ如シ)ハ當面ノ敵ヲ強攻シ引續キ

劉家行ノ線ヲ攻略シ大場鎮ニ對スル攻撃ヲ準備セントス

攻撃開始ハ午前九時トス

砲兵隊ハ主力ヲ以テ王九房附近ノ攻略ニ協力シタル後適

時主力ヲ以テ兩翼隊ニ協カス

三第一線大隊十二房北店宅無電台、文衡堂、張家宅
ノ敵ヲ強攻シ引續キ劉家行ノ線ヲ攻略スヘシ
第一大隊ハ文衡堂攻略後速射砲一小隊ヲ第三大隊ニ配
屬スヘシ

四野砲兵第一大隊ハ先ツ主力ヲ以テ第三大隊ニ一部ヲ以テ
第一、第二大隊ニ協力シ無電台攻略後ハ主力ヲ以テ右
大隊ニ一部ヲ以テ第三、第一大隊ニ協力スヘシ

五戰車中隊ハ先ツ第一大隊ノ攻撃ニ協力シ文衡堂攻略
後第三大隊ニ協力スヘシ

六予ハ現在地ニ在リ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ董陸宅舊里ニ
前進ス

下達法 要旨ヲ電話後命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

九月十七日
(雨)
狀況

十七日午前一時頃ヨリ全線ニ互リ敵ノ大逆襲アリ更ニ午
前四時再ヒ猛烈ナル逆襲ヲナス
第一線ハ各々現在地ヲ固守シ之ヲ撃退セリ
〔註〕此ノ逆襲ハ實ニ物凄キモノニシテ未タ嘗テ經驗シ
タル所ナキモノナリ聯隊長ハ余リノ物凄キ逆襲ニ狀
況ヲ大隊ニ問合セタル所各大隊共極メテ冷靜
ナリシニ依リ安心ヲナシタリ
夜明ルヤ第一線ヨリ敵ハ金家灣ヲ包圍スル如ク逆襲シ
來ルトノ報ニ接ス此處ニ於テ聯隊ハ直チニ砲兵ニ對シ金家
灣西側、無電台、楊家宅西側、舊里一帯ニ擾亂並ニ
阻止射撃ヲ要求セリ
野砲兵第一大隊ハ午前八時三十分午前十時三十五分

七五

午前十時四十五分、午前十一時四十五分、及正午、午後二時、午後三時ト殆ト連續シテ射撃ヲホシ其効果實ニ大ナリキ然レ共敵ハ逐次部隊ヲ増援シ益々執拗ニ逆襲シ來リ遂ニ金家灣ヲ占領シタル第十二中隊ハ千余ノ敵ニ完全ニ包圍セラル、ニ到レリ

金家灣ヲ包圍セル敵ハ更ニ金家灣東側地區ニ陣地ヲ構築シ始ル狀況ナリ聯隊ハ此ノ狀況ヲ知り直チ左記反撃命令ヲ下達セリ時ニ午後二時ナリ

步兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

昨夜以來、敵ノ攻勢企圖ハ挫折セシモ金家灣ニハ敵ノ大部隊進出セリ

ニ右翼隊ハ之ヲ反撃セントス

三 第二、第三大隊ハ金家灣ノ敵ヲ撃退スヘシ撃退後ハ
戦場ヲ整理スヘシ第十中隊ヲ午後三時頃第三大隊長
ノ指揮ニ復歸セシム

四 第十中隊ハ成ル可ク速ニ小朱宅ニ到リ大隊長ノ指揮ニ復
歸スヘシ

五 野砲兵第一大隊ハ全カヲ以テ金家灣反撃ニ協カスヘシ

六 第四中隊（一小隊缺）ハ豫隊^備朱家宅ニ位置スヘシ

七 予ハ依然現在地ニ在リ

下達法要旨電話後筆記送附ス

反撃ノ決心ヲ取リタル理由

一 友軍ハ金家灣ニ在リテ包圍セラレアリ之ヲ見殺シニスル能ハス
ニ敵ハ陣地ヲ出テ出撃シ來ルニ依リ打撃ヲ與フルニ最も好^セ

都合ナリ

三當時ノ狀況ハ全ク不明ナリキ斯ノ如キ際ノ處置ハ攻撃
以外ニナシト判斷セリ

四反撃手ヲ加ヘサレハ益々敵ヲ頑強ナラシム

戰鬪 第二第三大隊長ハ緊密ナル協定ノ上各々主力ヲ以テ午
經過 後五時攻撃ヲ開始ス

第二大隊ハ金家灣東北角及東北側ニ向ヒ第三大隊ハ
金家灣南側ニ向フ

聯隊ハ野砲兵第一大隊ノ外野砲兵第三大隊獨立野
戰重砲兵第三大隊ニ協力ヲ要求ス

第一線ハ泥濘ヲ冒シ一意攻撃手ヲ敢行ス午後六時三十
分頃砲兵ハ三ヶ大隊ノ火力ヲ以テ金家灣西側楊家宅

西側無電台ニ集中射撃ヲ實施ス第一線ハ此ノ砲撃ヲ利用シ全線一撃ニ敵ニ突入シ密集セル敵ニ殲滅的打撃ヲ與ヘタリ引續キ陣地ニ依レル敵ヲ撃退セントシタルモ陣地ノ偵察不充分ナルト既ニ夜ニ入リテ左右ノ連絡不充分ナルト且金家灣ニ對シ砲撃ヲ避ケタル爲トニ依リ奪取スル能ハサリキ

註

金家灣ニ對シ砲兵ノ集中射撃ヲナサリシハ金家灣ニ在ル友軍ヲ射ツニ忍ヒサリシニ依ル

斯クシテ遺憾ナラ陣地ハ奪取シ得サリシモ意氣軒昂タル新銳部隊ニ徹底的打撃ヲ與ヘ爾後ノ攻勢企圖ヲ完

金ニ挫折セシメタリ

捕虜ノ言及鹵獲品ニ依ルハ此ノ敵ハ廣東軍第六十六軍ニ屬スル第五百十九師、第六十師ナルコト判明セリ

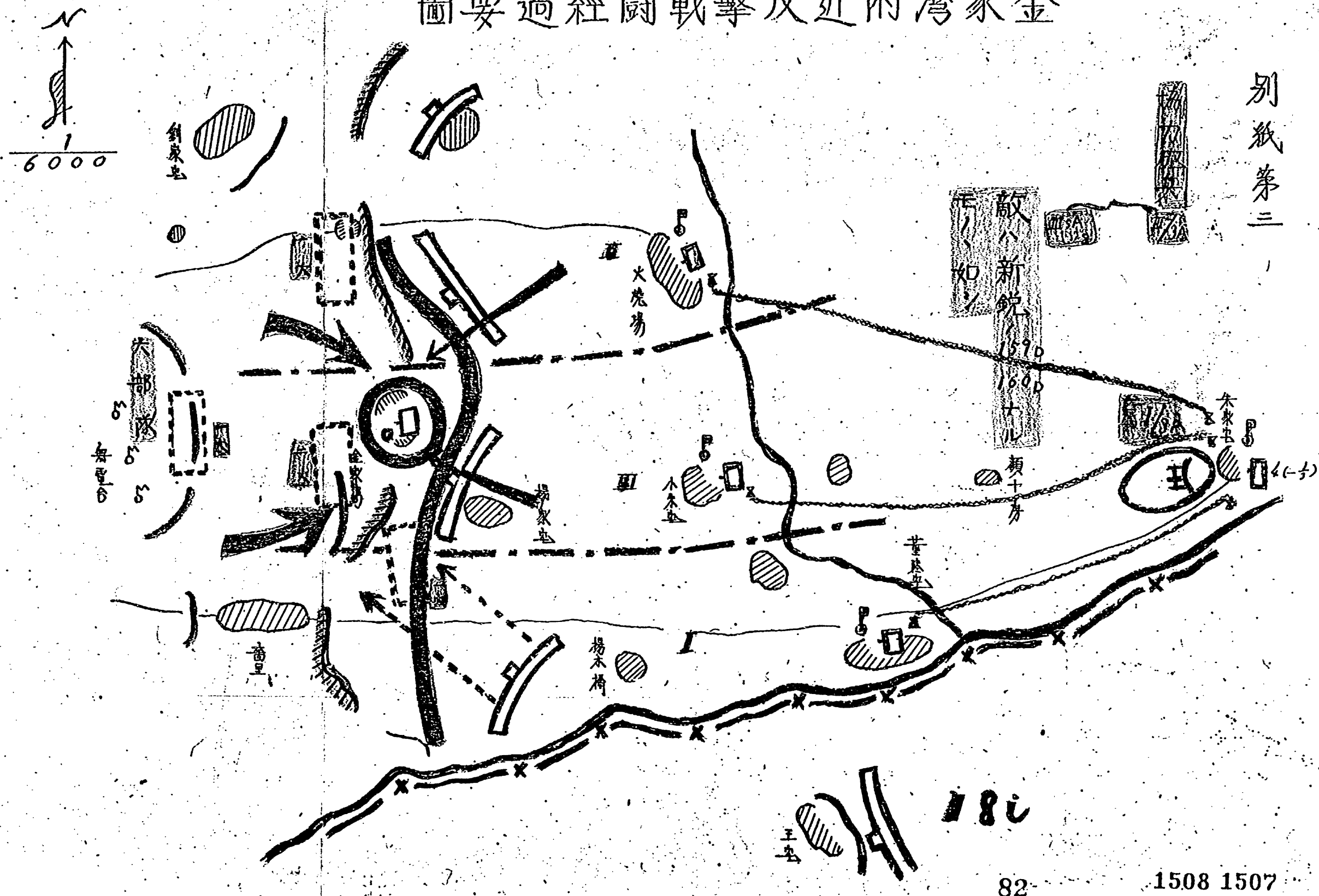
七九

新鋭ノ部隊ナリトハ判斷シタルモニケ師ノ敵トハ判斷セサリキハ。
 聯隊ハ各大隊ニ部隊ノ整理ヲ實施セシムヘク舊位置ヲ
 確保スヘキヲ命シタリ本日ノ戦闘ニ依リ敵ハ打撃ヲ受ケ
 タル爲夜ハ極メテ靜寂ナリキ
 本日ノ戦闘ニ於ケル成果
 敵ノ遺棄死体約八百 後送セルタメ詳細不明
 戦闘經過別紙要圖第三、如シ

2080

金家灣附近反擊戰經過要圖

別紙第三

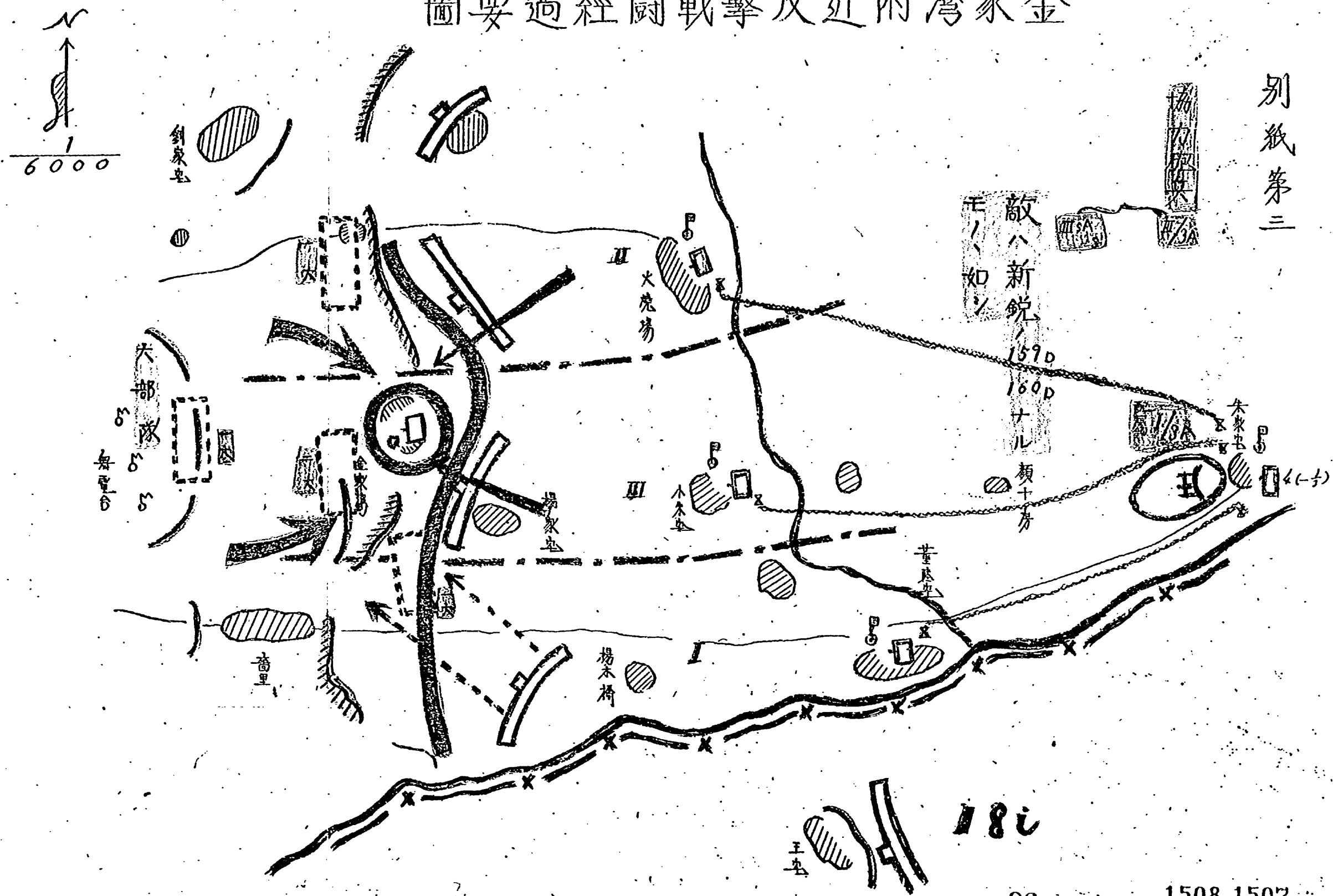


82 1508 1507

2080

圖要過經鬪戰擊反近附灣家金

別紙第三



82 1508 1507

九月十七日午後十一時三十分旅團命令ニ基キ左記命令ヲ下達
セリ

歩兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

一當面、敵ハ昨十六日夜新銳ノ部隊ト交代セルモノ、如ク尚頑
強ニ抵抗シアリ旅團ハ明十八日ヨリ別紙計畫ニ基キ劉家行
顧家宅ノ線ニ進出シ大場鎮ニ對スル攻撃ヲ準備ス師團
砲兵隊ノ一部ハ右翼隊ノ戰鬥ニ協カス

ニ右翼隊ハ本十七日現陣地ヲ確保シ明十八日以降別紙計
畫ニ基キ當面ノ敵ヲ突破シ劉家行北沙宅ノ線ニ進出
セントス

三第一大隊ハ左翼隊ノ王丸房、孟灣ノ線ヲ攻略後攻撃
前進ヲ開始シ普里附近ヲ攻略シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

ヘシ野砲兵大隊及戰車中隊ヲ協力セシム攻撃開始ハ午ハ三
後一時ト豫定スルモ別命ス

四第二第三大隊ハ概ネ現在線ヲ確保シテ隊伍ヲ整頓シ明後
十九日ノ攻撃ヲ準備スヘシ

明十八日第七中隊及如シ其所屬ニ復歸セシム

五左翼隊トノ戰闘地境ヲ左ノ如ク變更ス

董陸宅西端ヨリ西ニ走ルクリークノ線

六野砲第一大隊ハ明十八日正午迄ニ射撃準備ヲ整ヘ主トシ
テ第一大隊ノ攻撃ニ協力シ一部ヲ以テ右及中大隊正面ニ
阻止射撃ヲ準備スヘシ射撃開始ハ正午ト豫定スルモ
別命ス

第一大隊ハ連絡者ヲ派遣スヘシ

0180

戦車中隊ハ第一大隊ノ攻撃ニ協力スヘシ
ハ予ハ現在地ニ在リ
明十八日攻撃ノ進展ニ伴ヒ顔十房ニ前進ス
下達法一要旨ヲ電話後筆記送附ス

四

85

2~52

1511

別紙計畫

劉家行顧家宅攻略計畫

考 備	隊兵砲協力	隊兵砲	隊翼左	隊翼右	部 區 隊 分		方 針
					第期進出線	九月十八日	
	協力 主カヲ以テ 左翼隊ニ 協力	全方左翼隊	王丸房 猛 灣 寶家并北方 約ニハ線		第期進出線	九月十九日	旅團ハ協力砲工兵ト協力シ先ツ重點ヲ左翼 隊正面ニ保持シ顧家宅ヲ攻略シ爾後重 點ヲ右翼隊正面ニ保持シ劉家行ヲ攻略 シ大場鎮ニ對スル攻撃ヲ準備ス
	協力 主カヲ以テ 右翼隊ニ 協力	同上	張家宅 顧家宅	番 里	第期進出線	九月二十日	
	協力 主カヲ以テ 右翼隊ニ 協力	全方右翼隊	張家宅旁 無名部隊	劉家宅 無電台 文衛堂	第期進出線	九月二十日	
	同上	同上		劉家行東 方クリー 線	第期進出線	九月二十日	
	同上	同上	顧家宅南 方無名部 隊 湯	劉家行西 端北方 宅	第期進出線 任務	九月二十日 以後	
大場鎮ニ對スル攻撃準備							

十八日
狀況

各大隊ハ爾後ノ攻撃準備ノタメ各々現在線ヲ確保シ敵
情地形ノ偵察ヲナスト共ニ部隊ノ整理及兵器彈藥ノ
整備ヲ實施ス

九月九日上海飯田大隊ニ配屬セラレシ第七中隊及機關銃
一小隊(負傷者四名、外異常ナシ)ヲ午前四時頃朱家宅本
部ニ返還シ午後一時火燒場第二大隊本部ニ到リ大隊長
ノ指揮ニ入レリ

敵ハ依然金家灣一帶ヲ確守シアリテ尚續々増加シアル
狀況ナリ

左翼大隊タル歩兵第十八聯隊ハ本日王宅ノ線ニ進出セリ
第一大隊ハ查里ノ攻撃ヲ着々準備シタリシモ王丸房奪
取シアラサル狀況ナルヲ以テ攻撃スルコトナク現在線ヲ確保
ハナ

セリ本夜楊家宅ニ約一ヶ大隊ノ敵逆襲アリタルモ克ク之モ
ヲ撃退セリ

又第一大隊正面ニモ小逆襲アリタリ

午後八時別紙計畫第二期ノ線ニ進出スヘキ旅團命令ニ
基キ左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令

於朱家宅

一當面ノ敵情變化ナシ

ニ右翼隊ハ本夜現陣地ヲ確保シ明十九日西部楊家宅柵
柵ヲ攻略シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

三第二大隊ハ柵里ヲ攻略シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

戰車中隊ヲシテ協力セシム

四第三大隊ハ第一大隊ニ連繫シテ西部楊家宅ヲ攻略シ

爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

五、第二大隊ハ火燒場西北方及金象灣北方無名部落

ニ對シ努メテ前方ニ攻撃準備位置ヲ推進シ一部ヲ以テ第

三大隊ノ攻撃ニ協カスヘシ

六、攻撃手前進ハ左翼隊ノ王丸房攻略後トシ午前十時ト

豫定スルモ別命ス

七、野砲兵第一大隊ハ主トシテ第一、第三大隊ノ攻撃ニ協

カスヘシ

八、戰車中隊ハ第一大隊ノ攻撃ニ協カスヘシ

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

戦法ノ聯隊ハ我戦力ヲ考察シ且敵陣地ノ強度大ナルニ鑑ミ一
變更般ノ野戰陣地ノ攻撃法ヲ以テシテハ徒ラニ損害ヲ増大ハ

スルノミニシテ爾後ノ縱深突破困難ナリトシ堅固ナル陣地ニハ九
對スル攻撃法即チ對壕作業ニ依リ攻撃陣地ヲ推進ス
ル所謂正攻法ニ依ルヲ可ナリト判斷シ爾後ノ突破ハ此ノ
攻撃法ヲ用フルニ決ス

九月九日 各大隊ニ之カ指示ヲ與ヘ教育ヲ實施セシメタリ

(曇)
狀況

九月十九日ハ大ナル變化ナシ

野砲兵第一大隊ハ午前七時頃無電台北側十字路附
近ニ對シ工事補修妨害射撃ヲ午後零時三十分ヨリ
午後一時ニ互ル間金家灣北方片點線路上ニ沿フ陣地
ニ對シ制壓射撃ヲ實施シ各々相當ナル効果ヲ收メタ
リ敵ハ依然陣地ノ增強ニ努メシアルモ我砲撃及機關銃
等ニ依ル狙撃ノ爲損害多キ狀態ナリ步兵第十八聯隊

ハ本日王丸房ノ角ヲ占領セリ

午後九時左記旅團命令ヲ受領セリ

歩兵第二十九旅團命令

於馮家巷

一敵ハ今尚抵抗ヲ持續シツヽアリ

ニ旅團ハ明二十日概ネ現在ノ線ニ於テ攻撃ヲ準備セトス

三兩翼隊ハ概ネ現在ノ線ヲ確保シ明二十日當面ノ敵ニ

對スル攻撃ヲ準備スヘシ

但機ヲ見テ逐次攻撃ヲ準備位置ヲ推進スルコトヲ努ムヘシ

上野少將

午後十時左記聯隊命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

一敵ハ依然抵抗ヲ持續シアリ

劉家行ノ東方北方西北ニ北面及東面セル數線陣九一
 地顧家宅、寶宅、弄新屋ノ線ニモ數線陣地アリ
 第十一師團ノ左翼隊ハ何家屋（羅店鎮東南約四軒）
 朱家店、朱家宅ノ線以南ノ地區ニ攻撃手準備中ナリ
 旅團ハ明二十日概テ現在線ニ於テ攻撃手準備ス
 ニ右翼隊ハ明二十日現在線ヲ確保シ當面ノ敵ニ對スル攻
 撃手ヲ準備セントス

迫撃砲隊ハ主トシテ左翼隊ニ師團砲兵隊ハ各ニ大隊
 ヲ以テ適時兩翼隊ノ戰鬥ニ協力スル準備ニアリ
 ニ各第一線大隊ハ明二十日現在線ヲ確保シ當面ノ敵ニ對
 スル攻撃手ヲ準備スヘシ
 但機ヲ見テ攻撃手準備位置ヲ推進スルコトニ努ムヘシ

四野砲兵第三聯隊第一大隊一部ヲ以テ右第一線大隊
ニ主力ヲ以テ中及左第一線大隊ニ協力スルノ準備ニ在ル
ハシ

五爾余、諸隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ
六予ハ現在地ニ在リ

下達法要旨ヲ電話後命令受領者ヲ集メテ達筆記セム
二百 午前零時五十分、午前五時五十分、第一、第三大隊正面
(雨時曇)ニ逆襲アリ直チニ野砲兵第一大隊ニ阻止射撃ヲ要求
狀況

セリ野砲兵第一大隊ハ第十中隊及第二中隊ヲシテ楊
家宅西方及舊里東側及道路ニ對シ阻止射撃ヲ實
施シタリ此、阻止射撃ハ効果アリテ間モ無ク敵ヲ沈
黙セシメタリ

第二大隊第一大隊ハ香里ヲ攻撃スル爲ニ先ツ香里東南側高地
 過 戦闘經 (川那高地ト稱ス)ヲ奪取スルヲ必要トシ第一中隊ヲシテ之

カ攻撃ヲ命ス午後四時三十分攻撃ヲ前進ヲ起ス敵ハ頑
 強ニシテ容易ニ奪取スル能ハサリシカ午後四時五十七分砲
 兵ニ集中射撃ヲ要求シ遂ニ之カ支援下ニ陣地ノ一角ヲ
 占領セリ 爾後戦果ヲ擴張スルニ至ラス

第二大隊第二大隊ハ夜半ヨリ火焼場西方無名部落ノ守備ヲ步
 兵第六十八聯隊ト交代ヲ開始シ翌朝交代ヲ完了セリ
 火焼場ニ至リ敵情地形ヲ觀察スルト共ニ第一線部隊
 代 ト守備交 聯隊長ハ午前十時朱家宅本部ヲ出發シ小朱宅及

ノ狀況ヲ詳サニ視察シ午後二時歸ル

本夜敵ハ正子前後及午前五時ノ數回第一第三大隊ニ

逆襲シ來リシカ克ク撃退セリ

聯隊ハ本日ヨリ中央隊右第一線トナル

九月五日 第三大隊ハ依然現在地ヲ確保シ敵情地形ノ偵察

狀況ヲナシ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

第一大隊前日ニ引續キ畚里東南側高地ヲ奪取スヘク
過ノ戦闘經野砲兵第一大隊及戰車第一中隊ト密接ニ協定ノ許ニ

午後一時過攻撃ヲ開始ス

戰車中隊ハ本道ヲ前進シ先ツ高地上ノ機關銃ヲ射
撃シ次テ畚里東側地區ノ機關銃地帶ヲ制壓シ第一
大隊ノ攻撃ニ協力セリ戰車砲ノ射彈命中良好ニシテ第
一大隊ノ攻撃ヲ容易ナラシメタリ

野砲兵第一大隊ハ午後一時二十分畚里東南側ニ對シ

集中射撃ヲ實施ス

大隊ハ砲撃ノ効果擧ルヤ突撃ヲ敢行シ午後二時三十分頃該陣地ヲ占領セリ砲兵ハ占領ヲ見ルヤ直チニ射程ヲ
 沓里東側地區ニ延伸シ多大ノ効果ヲ與ヘタリ大隊ハ
 當時惡疫流行シ戦力著シク消耗シタル状態ナリシニモ
 拘ラス該陣地ノ戦術上ノ要點（沓里攻撃ノ據點）ナルヲ
 看破シ攻撃ヲ強行シタルハ適切ナル處置ナルト認ム
 又此ノ高地奪取ハ左歩兵第十八聯隊ノ攻撃ヲモ容易ナ
 ラシメタリ本日第五中隊ヲ聯隊豫備隊トナス
 午後八時左記旅團命令ヲ受領ス

歩兵第二十九旅團命令（要旨）於馮家巷

一當面ノ敵ハ依然抵抗ヲ續ケツアリ

ニ中央隊ハ師團攻撃計畫ニ依リ重點ヲ右第一線正面ニ
指向シ當面ノ敵ヲ攻撃シ劉象行西端北沙宅ノ線進
出セントス

三攻撃實施第一日ヲ明二十三日トス

歩兵ノ突撃實施及之ニ關スル砲兵隊ノ射撃協力ニ關
シテハ更ニ命令ス

之カ爲兩第一線ハ其攻撃計畫完了及之ニ對スル意見
ヲ速ニ報告スヘシ

四兩第一線ハ師團攻撃計畫ニヨリ當面ノ敵ヲ攻撃スヘシ

上野少將

午後九時左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令 於朱象宅

一、當面ノ敵ハ尚抵抗ヲ續ケツ、アリ中央隊ハ師團攻撃手計^{九七}
 畫ニ基キ重點ヲ當聯隊正面ニ指向シ當面ノ敵ヲ攻撃
 シ劉象行西端北沙宅ノ線ニ進出ス
 二、聯隊ハ明後二十三日當面ノ敵ヲ攻撃シ師團攻撃計畫
 第二次ノ線ニ進出セントス攻撃重點ハ第二大隊正面トス
 三、第一線各大隊（配屬缺除故ノ如シ）ハ先ツ金家灣西
 部楊家宅ヲ攻略シ次テ無電台東北側普里ヲ攻略
 シ師團攻撃計畫第二次ノ線ニ進出スヘシ
 工兵隊ハ一部ヲ以テ各大隊ニ協力スル筈
 四、第一次並ニ第二次攻撃ノ爲メ攻撃手準備完了セハ之ニ
 對スル意見ヲ速ニ報告スヘシ
 攻撃手開始ノ時機ハ別命ス

五 野砲兵第一大隊ハ主火力ヲ以テ金家灣舊里附近ノ部
 火力ヲ以テ金家灣西方及張家宅附近ニ準備シ第一次
 ニ於テハ主トシテ右及中大隊ニ第二次ニ於テハ主トシテ左
 大隊ノ攻撃手ニ協カスヘシ

六 第四中隊ノ一小隊ハ午前八時董陸宅ニ於テ大隊長ノ
 指揮ニ復歸セシム

七 戰車中隊ハ前任務ヲ續行スヘシ

聯隊ノ攻撃計畫竝ニ第三師團劉家行政攻撃
 計畫別紙ノ如シ

別紙計畫

日	次	右翼隊	中央隊	左翼隊	砲兵隊	備考
第一日	第一次	劉家宅東北	金泉灣一	現在線確	主火カヲ以テ	一本表ノ日次ハ状況ニ依リ變更スルコトアリ 二日次ノ攻撃開始及砲兵ノ射撃開始ハ別命ス
第一日	第二次	劉家宅北方	金泉灣西	南宅	主火カヲ以テ	
第二日	第三次	陳家巷附近	土房一無電	好機ヲ捉	右翼隊ニ有	
第三日	第四次	陳家宅一	北店宅西端	ヘテ背面	カヲ一部ヲ	
第三日	第五次	北店宅西	文衡堂西端	同上	以テ中央隊	
第四日	第六次	陳家宅	劉家行	同上	ニ部ヲ以テ	
		五百米及東方	楊家宅東端	探敵ヲ率	テ右翼隊ニ	
		二果無名部落	北都王丸房	制	協力ス	
		二果無名部落	張家宅	攻撃	左翼隊ニ協力ス	
		劉家宅	東側一軒家	ノ敵ヲ攻撃ス		
		周家巷	西方無名部落			
		無名部落	リ一ノ			
		北店宅西	西端			
		救徑アリ				
		一ノ				
		西端				

攻撃計画別紙

備考	第二 次				第一 次				回次
一、集中射撃ノ時機ハ第一線ノ要求ニ依リ別命ス	突撃		攻撃準備		突撃		攻撃準備		區分
	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	第六隊
	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	第三大隊
	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	第一大隊
	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	砲兵隊(砲兵隊)
突撃		攻撃準備		突撃		攻撃準備		其他	
シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	
シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	
シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	
シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	シテ取ス	

二十一日 各大隊ハ銳意對壕作業ニ依リ攻撃陣地ヲ推進スルト
 (曇後雨) 共ニ各協力部隊及隣接部隊ト連絡ヲ實施シ明日
 狀況 攻撃ヲ準備セリ

歩兵第六十八聯隊ハ未タ歸家衛ニ進出スルヲ得ス
 野砲兵第一大隊ハ本日金家灣北側及金家灣並ニ
 厓里ニ對シ試射シ一部破壊射撃ヲ實施セリ愈々
 明日、總攻撃ノタメ左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令 於朱家宅

一當面ノ敵ハ一部ヲ以テ本道方面ニ増加シタルモノ如ク

其他變化ナシ

ニ中央隊ハ師團攻撃計畫ニ基キ重點ヲ當聯隊正
 面ニ指向シ當面ノ敵ヲ攻撃シ劉家行西端北沙宅

、線ニ進出ヲ企圖ス

三 聯隊ハ明二十三日拂曉ヨリ當面ノ敵ヲ攻撃シ先ツ師
團攻撃計畫第一次線ニ進出續イテ第二次線ニ
進出セントス攻撃手ノ重點ハ第二大隊正面トス

四 第一線各大隊（配屬缺陳部隊故ノ如シ）ハ先ツ左ノ
如ク攻撃シ次テ無電台東北側畵里ヲ攻略シ師團
攻撃計畫第二次ノ線ニ進出スヘシ 特ニ煙ヲ使用スヘシ
工兵隊ハ一部ヲ以テ各大隊ニ協力スル筈

迫撃砲中隊ハ主トシテ第三大隊及第二大隊ノ戦闘
ニ協カス

五 第二大隊ハ本夜ノ中ニ攻撃準備ヲ完了シ明拂曉砲
兵ノ突撃支援射撃手ニ膚接シ午前六時三十分ヲ期シ

金家灣附近敵陣地ニ突入シタル後同地ヲ確保シ爾後
 攻撃ヲ準備スヘシ

六第三大隊ハ本夜攻撃準備ヲ完了シ明拂曉第三大隊
 攻撃ニ連繫シ西部楊家宅ヲ攻略シタル後第二次攻
 撃ヲ準備スヘシ

七第一大隊ハ現在線ニ在リテ第二次攻撃ヲ準備スヘシ
 特三部火力ヲ以テ第三大隊ノ戦闘ニ協力スルノ準備ニ在
 ルヘシ

ハ化學戰資材トシテ發煙筒ヲ左ノ如ク分配ス

第二大隊 九四式小發煙筒 一五〇本

第三大隊 同 一五〇本

第一大隊 同 發煙筒 六〇本

九、戰鬥地境左ノ如シ

ⅢⅡ 金家灣南端——劉家行南端ノ線ニ改ム

其他故ノ如シ

十、第一次線進出後第二次攻撃前進ノ時機ハ別命ス

十一、野砲兵第一大隊ハ當初主火力ヲ金家灣及同西北方

無名部落附近楊家宅西方附近ニ一部火力ヲ舊里

及同西北方獨立家屋附近ニ準備シ第一次ニ於テハ主

トシテ右大隊及中大隊ニ第二次ニ於テハ左大隊ノ戰鬥

ニ協力スヘシ

十二、予ハ依然現在地ニ在リ

下達法要旨電話後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

0330 九月三日 第二大隊ハ第七、第六中隊ヲ第一線トシ午前六時攻撃

（小雨後雲）前進ヲ起ス敵ハ鐵條網ト「クリーク」ノ障礙ヲ利用シ頑強
ノ狀況ニ抵抗ス
第三大隊
戰鬪經第一線ハ對壕作業ニヨリ極力近迫ニ努ム午前六時稍過
過

キ第三大隊ヨリ金家灣舊里ノ間ニ機關銃地帶アリテ
猛威ヲ振ヒツ、アリトノ報告ニ接セリ依テ直チニ野砲兵第
一大隊ニ要求シタル處ニケ中隊ノ火力ヲ以テ該陣地ニ制壓
ヲ加ヘ第二大隊左翼方面ノ攻撃ヲ容易ナラシメタリ金家
灣ノ敵ハ我猛攻ニ依リ稍動搖ノ色アリ

午前六時ニ七分砲兵ハ金家灣及其西北部落ニ對シ
突撃手支援射撃ヲ實施ス命中良好ニシテ效果極メ
テ大ナリ大隊ハ集中射撃ニ膚接シテ突撃手前進ヲ
起シ一部發煙ヲ利用シ午前八時頃猛火ヲ冒シテ陣

地ニ突入セリ當時右翼方面ハ劉象宅附近ヨリノ側
射斜射甚シク死傷續出スル状態ナリキ大隊ハ爾後
逐次戦果ヲ擴張シ午前八時五十分頃金象灣及其
北方無名部落ヲ占領セリ

第三大隊第三大隊ハ容易ニ西部楊象宅ヲ午前中ニ奪取シ
戦鬪經ニ爾後第二、第三大隊ノ戦鬪ニ火力ヲ以テ協力セリ

過 聯隊ハ第二大隊及第三大隊各々所命ノ目標ヲ奪取
戦鬪經セル狀況ヲ知り計畫ニ基キ第一大隊ニ對シ午前十一時

過 攻撃開始ヲ命シタリ野砲兵第一大隊ハ午時十時十

五分ヨリ沓里ノ陣地ニ對シ制壓射撃ヲ開始セリ

戦車中隊ハ午前十一時十五分砲兵ノ射撃開始ト共

ニ朱家宅ヲ出發シ沓里東方五十米附近ニ展開シ

當面、敵火點ニ有効ナル射撃ヲ反覆シ步兵ノ攻撃ヲ容易ナラシメタリ

第一大隊ハ第四、第二、第三中隊ヲ第一線ニシ敵火ヲ制壓シ、近迫シ午前十一時三十分ノ集中射撃ヲ利用シ一舉ニ查里東側「クリーク」ノ線ニ達ス此線ニ於テ暫ク態勢ヲ整ヘ敵陣地突入ノ機ヲ窺フ

敵ハ我猛射ニ屈スル事ナク家屋及掩蓋ヲ利用シ大隊ノ右側ニ射弾ヲ集中シ大隊ノ死傷甚カラサル状態ナリ
左混成第三中隊ハ午後一時頃戰車ノ適切ナル協力ノ下ニ先ツ敵陣ニ突入ス續テ第二中隊ノ一小隊モ突入シ手榴彈戰及自兵戰ヲ交ヘタル後第一線陣地ヲ確實ニ占領セリ

本道上ニ在リテ大隊ノ攻撃ニ協力シアリシ戰車中隊ハ第一線ノ猛烈ナル自兵戰ヲ展開シツ、アルヅ見ルヤ直チニ左翼方面ニ移動シ步兵ト密接ナル連繫ヲ計リツ、逐次掩蓋陣地ヲ掃蕩シ午後五時混成第三中隊ハ舊里西南角^{陣地}ヲ完全ニ奪取セリ

第四中隊ハ舊里東北角ニ向ヒ銳意攻撃ヲ續行シタルモ至近距離ニ於ケル敵火熾烈ヲ極メ遂ニ奪取スルニ至ラサリシカ一部ヲ以テ深ク舊里西北側ニ進出セシメ爾後大隊ノ攻撃ヲ容易ナラシメタリ

戰車中隊ノ舊里附近ノ戰闘ニ於ケル協力ハ適切良好ニシテ第一大隊ノ攻撃ヲ容易ナラシメタリ

連射砲中隊ハ第一大隊長ノ指揮下ニアリテ克ク第一線

ニ進出シ所命ノ目標ヲ制壓撲滅シ大イニ大隊ノ攻撃ニ協力セリ聯隊砲中隊ハ各々一小隊ヲ第二、第一大隊ニ配屬シ多數ノ機關銃ヲ破壊シ大隊ノ攻撃ニ密接ニ協力セリ本日ノ戦闘ニ於ケル成果

敵ノ遺棄死体 六四。

(金家灣附近ハ死傷無數ナリモ約一週間ノ對峙間ニ殆ト後送セリ)

敵ノ損害ハ二千ヲ下ラス

戦闘 聯隊ハ金家灣舊里陣地ノ奪取ニ依リ遂ニ執拗極マ成果

リナキ廣東軍ノ第百五十九、第百六十師ヲ潰滅セシメ劉象行ノ攻略ヲ容易ナラシメタリ

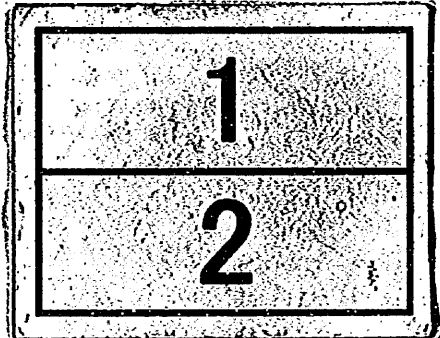
第三大隊、一週間ニ互リ執拗ナル敵ノ逆襲ヲ排除シ突ハ

出セル楊象宅ヲ確保セルハ聯隊ノ本日ノ攻撃ヲ極メテ容
易ナラシメタリ

本戦闘ニ於ケル野砲兵第一大隊及戰車中隊ノ協力ハ
良好ナリキ

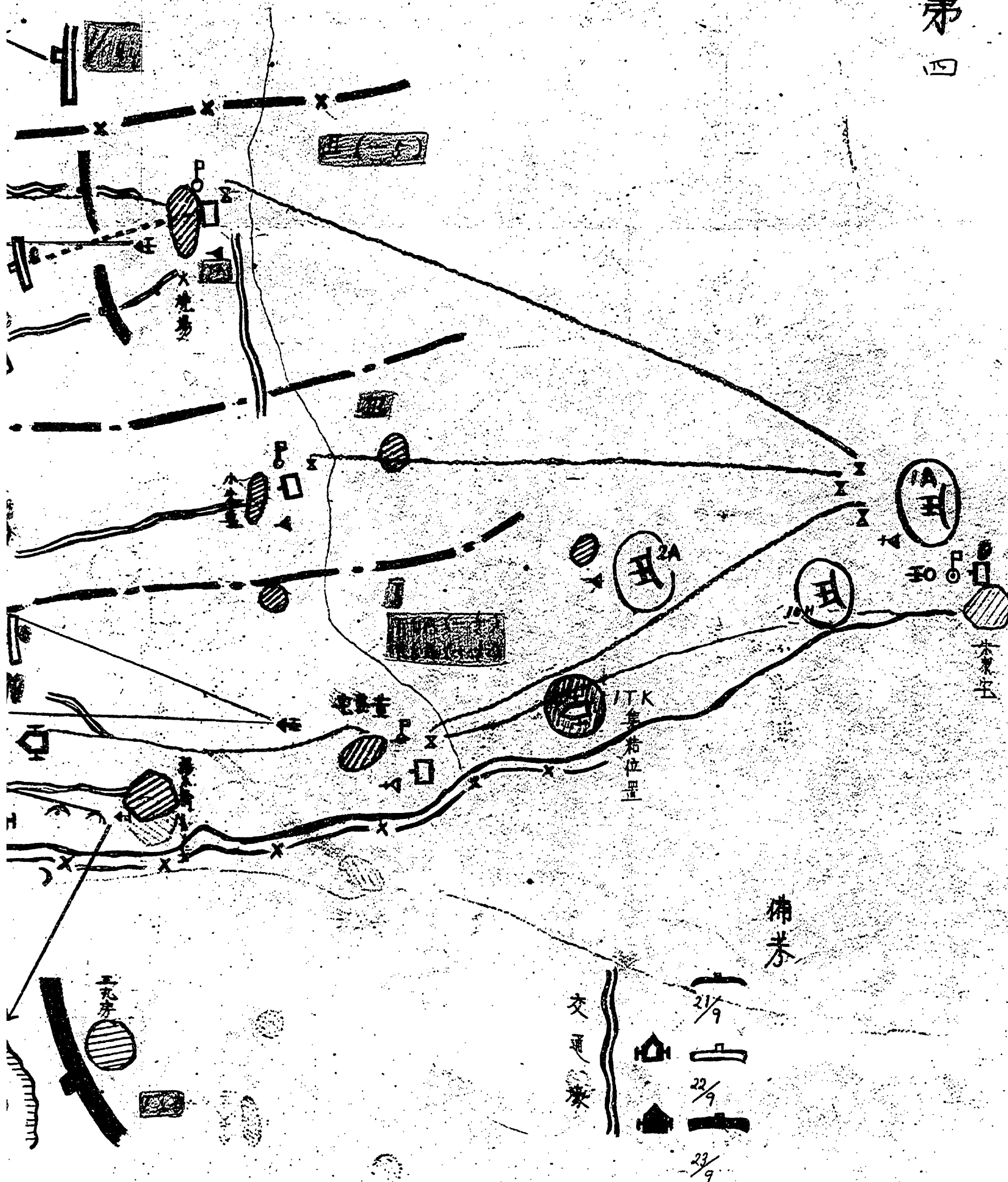
戦闘經過別紙要圖第四ノ如シ

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	自9月21日至9月23日 戦闘経過要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

1540 1538
1541 1539

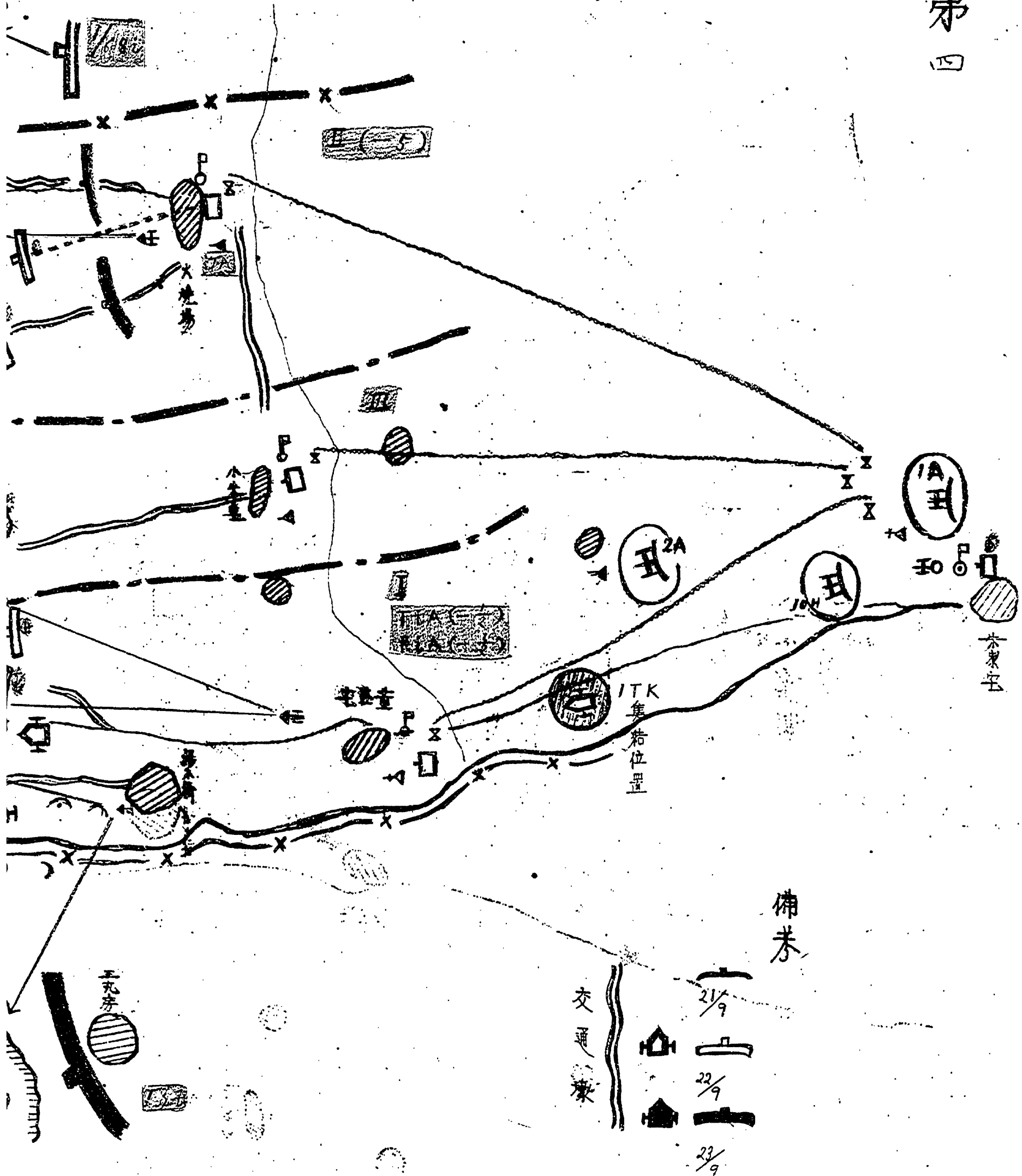
別紙第四



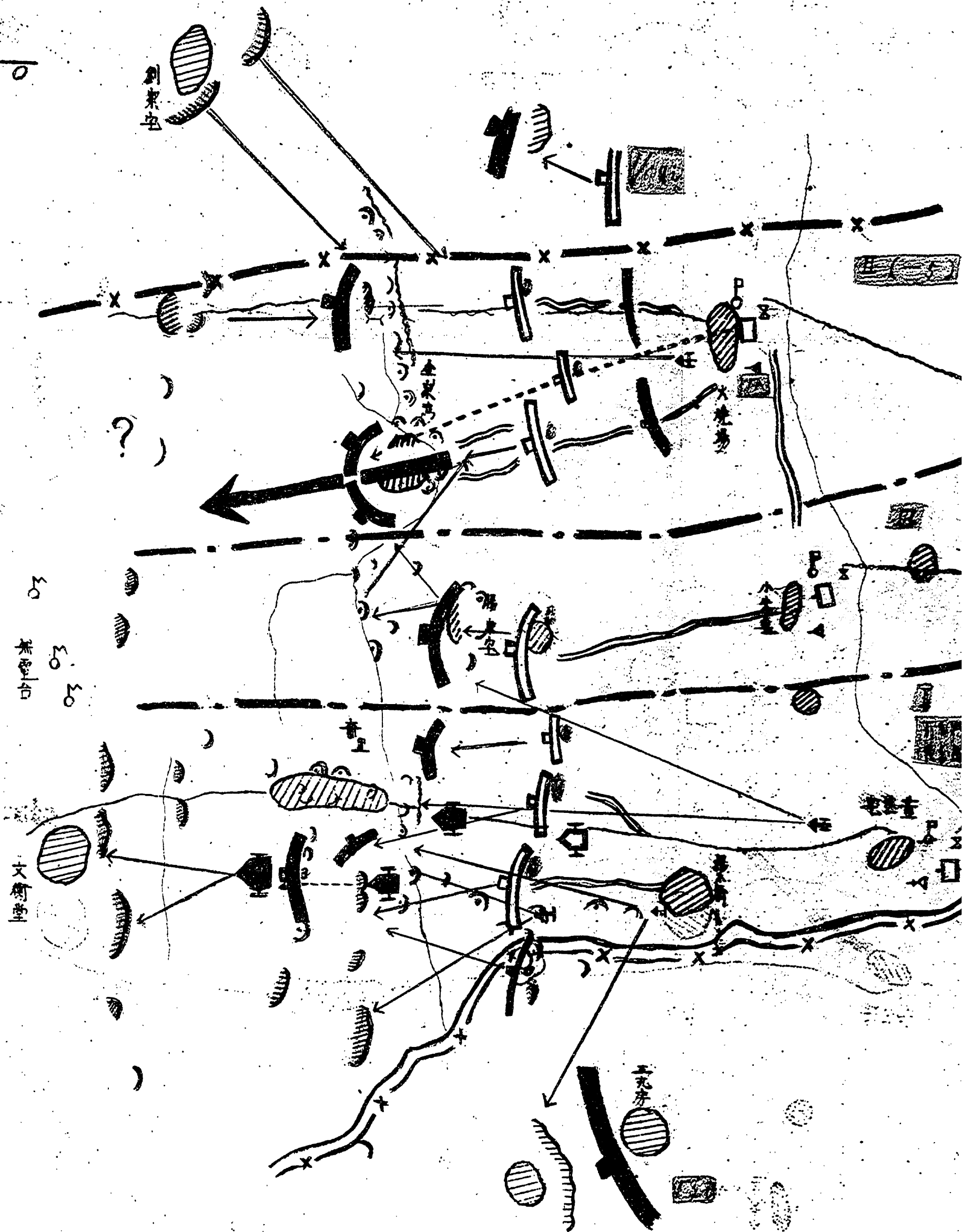
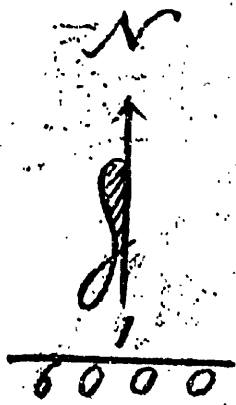
經 闘 戦 日一十二月九自 日三十二月九至

1540 1538
 1541 1539

別
 紙
 第
 四

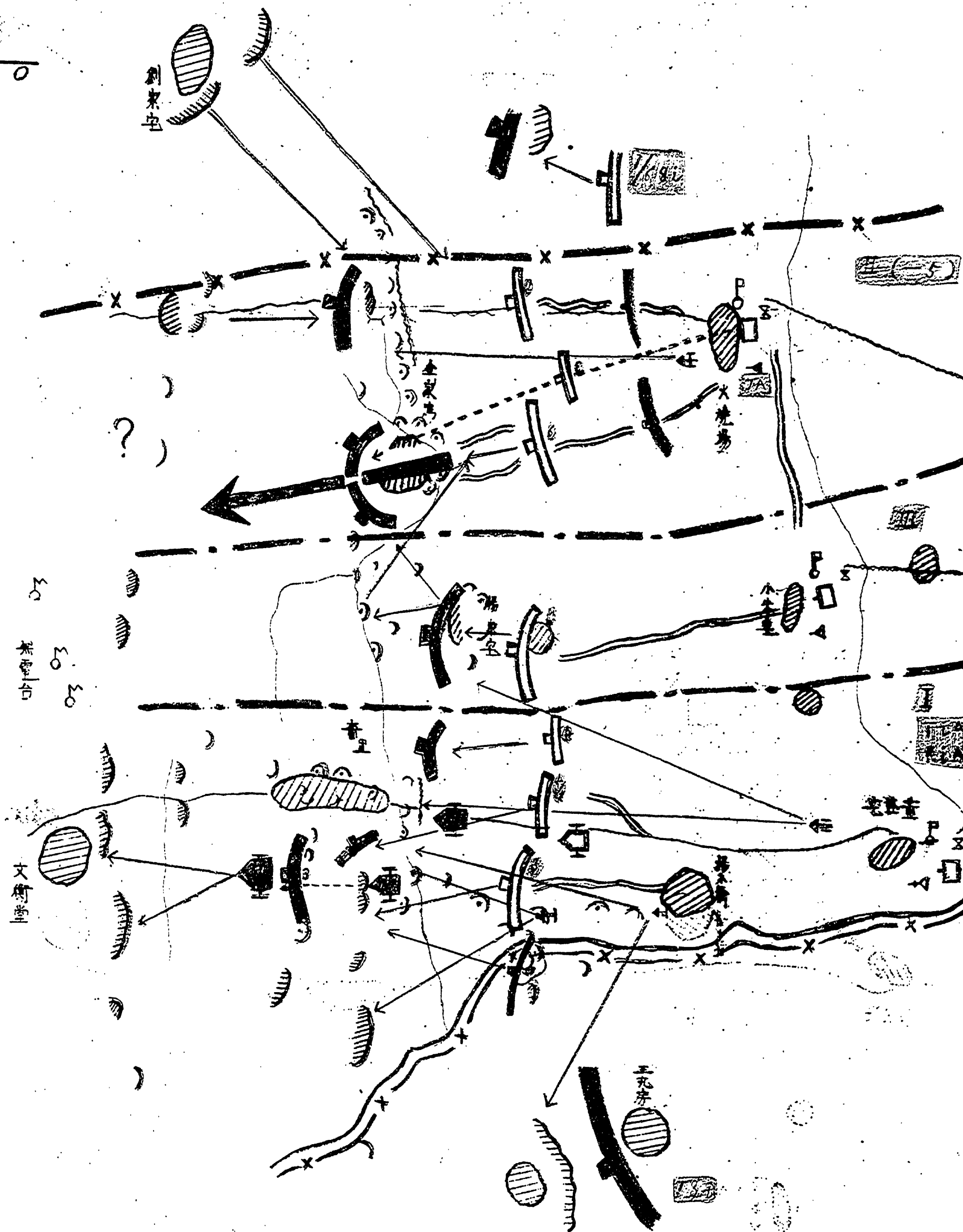
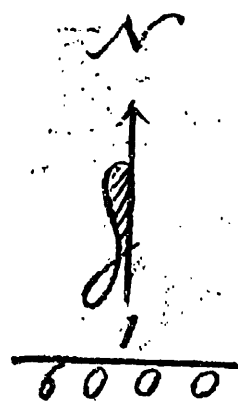


戰鬪經過要圖



2880

戰鬪經過要圖



8888